

35. ペンデュラム入江

南緯62度56分 西経60度36分
サウス・シェトランド諸島
デセプション島フォスター泊地
の北東側の小さな入江

ANTARCTIC TREATY

visitor site guide



主な特徴

- 地熱活動でできる温水
- 第76南極史跡記念物：閉鎖されたチリの基地「プレジデンテ・ペドロ・アギユレ・セルダ基地」
- 第4南極特別管理地区デセプション島の一部



概要

地形

フォスター泊地の北東にある小さな入江。緩やかに傾斜する灰と噴石でできた海岸は、上記南極史跡記念物（HSM）に至る。

植物相

なし。しかし、第40南極特別保護地区（ASPA140）の一部となっている第76南極史跡記念物（HSM76）の南東部斜面には、現在、多数の蘚類と地衣類がコロニーを形成している。この中には、南極では当地以外に見られない蘚類2種が含まれる。

その他

本地区では通常、さまざまな科学調査活動が行われている。

プレジデンテ・ペドロ・アギユレ・セルダ基地（チリ）の廃墟は第76南極史跡記念物である。これは1967年の火山噴火で破壊された基地であり、噴火の威力をまざまざと見せつけている。基地は1955年2月に開設され、火山学、気候学、および気象学に関する調査活動を支援していた。1965年には基地内に気象予報室が設置され、サウス・シェトランド諸島地域におけるこうした調査活動に対して、定期的かつ恒常的に情報を提供していた。1967年12月、火山の噴火により基地は破壊され、この基地の運用は衝撃的に幕を閉じた。

訪問者の影響

既知の影響

なし

潜在的影響

第76南極史跡記念物の損傷；科学調査活動及び調査機器類への妨害。第40南極特別保護地区（ASPA140）への偶発的な立入り及び同地区の植生の踏圧。

上陸要件

船舶*

最大乗客数：500名

同時来島可能船舶：1隻

注釈：1日あたり船舶は3隻まで、そのうち乗客が200名を超える船舶は2隻までとする。

*船舶の定義は、13人以上の乗客を乗せた船とする。

訪問者

同時に上陸・滞在できる訪問者数上限（探検ガイドとリーダーを除く）：100名

ガイド1名あたりの訪問者数：15名

35. ペンデュラム入江

南緯62度56分 西経60度36分
サウス・シェトランド諸島
デセプション島フォスター泊地
の北東側の小さな入江

ANTARCTIC TREATY

visitor site guide



訪問区域

上陸区域

ペンデュラム入江の海岸線全域。海路でのアクセス。

閉鎖区域

第40南極特別保護地区（ASPA140）のサイトGへの立入りは禁止されている。南極特別保護地区の境界がはっきりとわかるよう、サイトへはガイドを配置するか、もしくは標識を設置すること。

ガイド同行での歩行（可能）区域

訪問中、第76南極史跡記念物周辺にはガイドを配置すること。（同史跡記念物に）詳しいガイドが引率する少人数のグループ（15名以下）に限り、同史跡記念物を訪れることができる。立入りは、基地本棟の廃墟周辺部の外側までとし、基地廃墟の中に入ってはならない。また、同廃墟より内陸側に行ってはならない。

自由散策区域

訪問者は、閉鎖区域とガイド同行での歩行可能区域を除き、自由に散策できる。ただし、しっかりと指示に従うこと。

訪問者の行動規範

陸上での行動

- 水浴び用の穴を掘らないこと。
- 高感度の科学調査機器の20m以内に近づくことは、測定に著しく影響を及ぼす可能性がある。第76南極史跡記念物の周辺地域に設置されている全てのモニタリング機器から20m以上の距離をおくこと。こうした機器類は地震活動およびその他火山活動の兆候を測定しているものであり、デセプション島のリアルタイム監視地震観測網の一部である。地震モニタリング装置も含めたデセプション島地震計装の地図が作成され、シーズンごとに更新されることになっている。
- 科学調査活動が行われていることを考慮する。作業中の研究者の邪魔をしないこと。
- 第4南極特別管理地区（ASMA）デセプション島管理計画に従って訪問すること。
- いずれの植生地域も歩いてはならない。植生地域以外でも、目につかない生物相が存在する可能性のある地表面をかく乱しないよう、地面を強く踏みつけないこと。

注意事項

- ペンデュラム入江では70°Cを超える水温が記録されている。水浴する人は、熱傷の危険があることに留意する。探検隊のスタッフは、乗客の「水浴場所」として、温度が低い海水と熱水とが混ざり合うところを慎重に選ぶこと。足の熱傷を防ぐため、靴あるいはブーツを履いたままで水に入る。
- 安全上の理由から、一度に第76南極史跡記念物に近づくことができるのは小グループ（15人以下）のみとする。建築資材（壊れた金属など）が散乱している場所には近づかない。
- 現地に危険な窪みがあるため、当該南極史跡記念物（HSM）に近づく際は注意を払い、HSMから15メートル内には近づかないこと。
- 火山が噴火する恐れがあり、そのため重大な危険性がある。訪問計画を立てる際は常にこの点を考慮すること。

35. ペンデュラム入江

南緯62度56分 西経60度36分
サウス・シェトランド諸島
デセプション島フォスター泊地
の北東側の小さな入江

ANTARCTIC TREATY

visitor site guide



ペンデュラム入江海岸



第76史跡記念物 アグイレ・セルダ基地の廃墟

35. ペンデュラム入江

南緯62度56分 西経60度36分
サウス・シェトランド諸島
デセプション島フォースター泊地
の北東側の小さな入江

ANTARCTIC TREATY

visitor site guide

